

平成24年度東海四県三市及び国立四大学連携防災シンポジウムの開催について

平成23年3月11日に発災した東日本大震災では、津波により多くの尊い命が失われましたが、その中で自らの命を自らで守る「自助」や地域での助け合い「共助」の重要性が再認識されました。

東海四県三市（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、名古屋市、静岡市、浜松市）と岐阜大学、三重大学、静岡大学、名古屋大学の国立四大学では、これらの教訓を踏まえ、連携して、下記の通り防災シンポジウムを開催します。

記

- 1 テーマ：自助、共助が息づく地域ぐるみの防災戦略
- 2 主催：東海四県三市防災・危機管理に関する連絡会議
（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、名古屋市、静岡市、浜松市）
岐阜大学、三重大学、静岡大学、名古屋大学
- 3 協賛：独立行政法人都市再生機構、財団法人愛知県建築住宅センター
- 4 開催日：平成24年5月12日（土）午前10時～午後5時
- 5 場所：名古屋大学豊田講堂
- 6 定員：1,200名（入場無料）
- 7 内容
 - (1) 午前の部 [10:00～12:30]
基調講演 名古屋大学減災連携研究センター長・教授 福和 伸夫
「巨大地震を教育・土地利用・連携により凌ぐ～東日本大震災に学んで～」
名古屋大学大学院環境学研究科附属
交通・都市国際研究センター長・教授 林 良嗣
「レジリエントな国土への再設計に向けて」
 - (2) 午後の部 [13:30～17:00]
各大学及び協賛機関から推薦していただいたパネリストによるテーマに沿ったディスカッションを実施します。

○ コーディネーター	名古屋大学	隈本 邦彦	客員教授
○ パネリスト	岐阜大学	高木 朗義	教授
	三重大学	浅野 聡	准教授
	静岡大学	牛山 素行	准教授
	名古屋大学	鈴木 康弘	教授
	UR都市機構	松田 秀夫	理事
	半田市岩滑区自主防災会	後藤 章次	会長
 - (3) 啓発展示 [11:00～17:00]
シンポジオンホールにおいて、主催県市及び大学等による啓発展示を実施するとともに、屋外では、起震車「なまず号」体験ができます。
(裏面へ)

8 申し込み方法

聴講希望の方は平成24年5月7日(月)までに愛知県防災局災害対策課又は名古屋大学減災連携研究センターまで電話またはFAXで事前にお申し込みください。

(1) 愛知県防災局災害対策課

電話番号 052-954-6193

FAX 052-954-6912

(2) 名古屋大学減災連携研究センター

電話番号 052-789-3468

FAX 052-789-5023

※電話による受付は平日の午前9時から午後4時までです。

※いずれの場合も、氏名、住所、連絡先電話番号及びFAX番号をお知らせください。FAXの場合、件名として「5月12日防災シンポジウム申込」と記入してください。

※定員は1,200名です(入場無料)。定員に達し次第、申込受付を終了します。申込超過等により聴講をお断りする場合以外は、特に御連絡いたしません。